

東京都公民館連絡協議会職員部会 第2回（報告）

- 1 日時 平成29年5月16日（火）午後2時～
- 2 会場 小金井市公民館本館
- 3 出席 小金井市（筈本）、小平市（小山）、東大和市（富田）、福生市（西田）、町田市（今村）、昭島市（遠藤）、狛江市（横山）、国分寺市（南波）
- 4 内容
 - (1) 事務局より
 - ・職員部会ニュースコラム担当順
4・5月号 小金井市、小平市（5月20日締め切り）
6・7月号 日野市、福生市（7月22日締め切り）
 - ・平成29年度スケジュール連絡
4月に配布したスケジュールについては、8月実施となっていたが、8月は休みとする。
9月は定例会の代わりに、研修会を実施する。
 - (2) 協議事項に関して
 - ・研修会内容について
各自が関心、興味のある事例を出し合って議論をした。テーマ決定にあたり、PRの方法や講座を良い企画を生むための雰囲気づくり、魅力ある講座をつくるためには、などに興味がある意見が多かった。また、過去の講座について、失敗事例（なぜ失敗したか）を聞いてみたいとの声も挙がった。そのため、研修会のテーマは“公民館として（社会教育として）の、魅力ある講座とは？”に決定した。ただし、公民館（社会教育）としての講座であり、公民館とはどんなところか、などについても触れてもらうように講師へ依頼することとなった。
 - ・都公連研究大会課題別集会について
第1回企画委員会が5月末から6月初めで開催される。
場所は狛江市。小金井市、町田市で出席予定。
今後、課題別集会については主に町田市を中心に進める。
- 5 各市からの報告事項
 - Twitter などSNSでの広報に関して
 - 若者向けの講座企画について
- 6 次回開催について
6月21日（水）午後2時～ 会場：小金井市公民館本館

東京都公民館連絡協議会職員部会 第3回（報告）

1 日時 平成29年6月21日（水）午後2時～

2 会場 小金井市公民館本館

3 出席 小金井市（筈本）、小平市（小山）、東大和市（富田）、福生市（西田）、町田市（今村）、昭島市（遠藤）、狛江市（横山）、国分寺市（南波）、日野市（飯田）、国立市（遠藤）、西東京市（山本）、伊東顧問

4 内容

（1）事務局より

・職員部会ニュースコラム担当順

6・7月号 日野市、福生市（7月20日締め切り）

8・9月号 国分寺市、国立市（9月23日締め切り）

・第1回都公連役員会の報告

5月25日（木）に、都公連第1回役員会が開催された。内容としては自己紹介、各部会報告、今後のスケジュールなど。

職員部会として、1回目、2回目の定例会を終了していること、今年度は研修会を1回実施予定であること、詳細などは今後決定していくが「公民館としての、魅力ある講座とは」というテーマに決定したこと、また、研修会の内容をその後の都公連研究大会課題別集会へつなげていくことを報告した。

（2）協議事項に関して

・研修会内容について

前回決定したテーマ、内容、日時、対象に関して改めて確認。講師については伊東顧問より助言をいただき、金田光正氏、倉持伸江氏、朝岡幸彦氏が候補となった。出席者多数決により、金田光正氏へ講師依頼を行うことと決定。

次回の定例会では広報関係を含めた詳細を決定する。特に、配布するチラシについて各市で案を持ち寄り確認する。

・都公連研究大会課題別集会について（第1回企画委員会の報告）

6月2日に第1回企画委員会開催。町田市今村様出席。今年度の研究大会は2018年2月3日（土）10時～16時（午前中は全体会、午後は課題別集会）。メインテーマ等未決定ではあるが、“未来志向的なテーマ”を検討中。職員部会として、研修会に関連づけたテーマとする旨を伝えている。

5 各市からの報告事項

福生市より。各市の公民館だよりなど広報物の扱いについて確認。

6 次回開催について

7月19日（水）午後3時～ 会場：小金井市公民館本館



発行：東京都公民館連絡協議会

会長：西東京市

職員部会長：小金井市 筈本 孝文

日時：原則毎月第3水曜日

会場：小金井市市公民館本館

メンバー：昭島市（遠藤）・国立市（遠藤）・

町田市（今村）・国分寺市（南波）・

小平市（小山）・狛江市（横山）・

西東京市（山本）・東大和市（富田）・

日野市（飯田）・福生市（西田）

第1回職員部会報告

4月26日（水）

1 自己紹介

各市担当者より自己紹介。

2 事務局より

・総会内容報告

平成29年度都公連定期総会が開催された。都公連研究大会を平成30年2月3日（土）狛江市で開催予定であり、職員部会で課題別集会のひとつを担当することとなった。

・平成29年度スケジュール連絡

原則毎月第3水曜日に開催。（5月、3月については別日）。

課題別集会を担当ため、企画委員会への出席が必要。

その他、職員部会研修を予定（時期、テーマなど未確定）。

3 協議事項に関して

・平成29年度職員部会で扱う内容について

今、関心や興味のある事例を出し合ってもらい、決定することとなった。例えば、公民館とは、公民館の魅力ある事業とは、公民館職員とは、これまでの公民館と今後の公民館について、など。また、定例会、研修会、研究大会課題別集会を切り離して考えるのではなく、全て関連付けて考えられるようなテーマを選んだ方が良いとの意見があった。

- ・職員部会ニュース担当順番に関して
2ヶ月に一度、職員部会ニュースを発行しており、職員コラムを掲載。

4 各市からの報告事項

- ・16mm映写機、フィルムの保存や貸し出しについて
- ・市民との協働で企画する講座に関して

第2回職員部会報告

5月16日（火）

1 事務局より

- ・職員部会ニュースコラム担当順
4・5月号 小金井市、小平市
6・7月号 日野市、福生市
- ・平成29年度スケジュール連絡
8月実施となっていたが、8月は休み。9月は定例会の代わりに、研修会を実施する。

2 協議事項に関して

- ・研修会内容について
各自が関心、興味のある事例を出し合って議論をした。テーマ決定にあたり、PRの方法や講座で良い企画を生むための雰囲気づくり、魅力ある講座をつくるためには、などに興味がある意見が多かった。また、過去の講座について、失敗事例（なぜ失敗したか）を聞いてみたいとの声も挙がった。そのため、研修会のテーマは“公民館として（社会教育として）の、魅力ある講座とは？”に決定した。ただし、公民館（社会教育）としての講座であり、公民館とはどんなところか、などについても触れてもらうように講師へ依頼することとなった。
- ・都公連研究大会課題別集会について
第1回企画委員会が5月末から6月初めで開催される。場所は狛江市。小金井市、町田市で出席予定。今後、課題別集会については主に町田市を中心に進める。

4 各市からの報告事項

Twitter などSNSでの広報に関して

若者向けの講座企画について

職員コラム

この「職員コラム」は、毎回職員部会のメンバーが交代で記事を書きます。内容は職員部会の様子や各市公民館の行事、お知らせしたい事業などです。今回は小金井市、小平市が担当です

小金井市

小金井市公民館 筈本 孝文

【部会長として・・・】

今年度、職員部会長を担当させていただきます小金井市公民館職員の筈本（とまもと）です。昨年に引き続き職員部会への出席となりますが、未だにわからないことだらけで、このたび新しく職員部会担当となった方と同様に改めて皆さんと一緒に学んでいきたいと思います。

私は、民間企業を経て2015年に入庁し、最初の配属先が公民館でした。当時は公民館とはどんなことをする場所なのか知りませんでしたし、そもそも教育施設であるということも知りませんでした。そんなヒナですらない、まごうことなきまっさらなタマゴの私でしたが、2年経ってどうなったかというと、やはりまだヒナにはなれていません。社会教育って何ぞや、と思い悩むことも多々ありますし。ですが、試行錯誤しながら講座を実施したり、都公連などに参加したりして、タマゴにヒビを一生懸命入れて早く孵化をしようとしている最中だと感じます。

さて、職員部会ですが、昨年は1年目にして副部会長を仰せつかりました。本来であれば何かと部会長をフォローしなければならない立場だったのですが、逆にフォローをされっぱなしでした。そんな職員部会の印象ですが、他の公民館の方とつながりを作ったり情報交換をできたりする点がとても良いなと感じました。

今年の職員部会は昨年とは違い、研修会を企画したり、研究大会の課題別集会を担当したりと盛りだくさんです。そんな中で、部会長として、昨年の分も取り返すべく皆さんを引っ張っていければと考えていますので、どうぞ1年間よろしく願いいたします。

【私が顔を赤くする理由 — 2年目の菜園教室 —】

よく職員部会をしていると私の顔が赤くなっていることがあります。しかし、それは断じて緊張や焦りからではありません！もっと別の理由があるのです。それは、ズバリ『日焼け』なのです。

小金井市では、市民の方から参加者を募って、1年間の野菜づくり講座を実施して

います。市内5館のうち3館で開催しており、それぞれ本館は「菜園教室」、緑分館は「共働夢農園」、貫井南分館は「江戸野菜に親しもう」というタイトルで行っています。その中のひとつである「菜園教室」を私が担当しています。

菜園教室は1978年から続く、公民館の中でも長い歴史を誇る講座のひとつです。畑は“ふれあい農園”と名づけられ、土とのふれあいや人とのふれあいを、作業を通じて感じてもらいたいと願いをこめて名づけられました。また、食、農、自然、人の和などに目を開き、認識を深めることを目的としています。ちなみに、原則毎週水曜日午前中に作業を行っています（職員部会定例会の前）。これで、私が緊張や焦りなどで顔が赤くなるのではなく、日焼けで顔が赤くなっているということが分かってもらえたと思います。



さて、今年度の菜園教室も無事4月12日に開講式を迎え、早くも約2ヶ月が経過しました。昨年度から引き続き応募されて受講している方、今回新たに受講を決めた方など顔ぶれも変わり、協力しながら野菜を育てています。4月はハウレン草やキヌサヤなどの収穫、サトイモの芽だし、前年度から植えていたジャガイモの土寄せや芽かき、また、今後植える夏野菜のための畑づくりなどを行いました。5月は引き続きジャガイモの土寄せや芽かき、ラディッシュの間引き、そしてトマトやナス、ピーマン、ゴーヤといった夏野菜の植え付けなどを行いました。

菜園教室を担当していて実感することは、職員、講師、受講者がそれぞれ有機的に関係しあって講座を全員で作りに上げているということです。職員だけでなく、講師の人も受講生も一緒になって、「どのようにすればみんなが楽しく、満足のいく教室となるか」を常に考えています。そのため、時には職員の方が手持ち無沙汰になるくらいです。このようなくみんなで考える。みんなに参加する>というのも立派な社会教育の講座だと身をもって学ぶことができました。



さて、これからどんどん気温が高くなり、すぐに夏真っ盛りを迎えます。ふれあい農園に植えられた野菜たちはこれからぐんぐん成長していくでしょう。7月には採れた野菜で収穫祭が待っています。今からどんな料理が作られるのか楽しみで仕方ありません。

「事業企画委員会について」

小平市立小川公民館 小山 豊

小平市公民館の講座企画について、以前は講座終了時のアンケートや一般公募の「講座のための意見交換会」を参考にして各分館長が企画していました。

公民館事業をより多くの方々にも興味を持っていただけるよう、地域の特性や様々な意見を講座に組み入れるため、昨年より事業企画委員会を立ち上げました。

委員については、その地域で活躍されている学校関係、青少年対策地区委員、民生委員・児童委員、自治会、地域包括支援センター、老人会、利用者懇談会などの方々にお願ひしました。

会議は4月から10月迄の月1回、講座案を提出してもらいグループで討議し、講座内容・回数・講師などを決めていきます。

その結果、地域支援講座、防災・生活安全講座、健康づくり講座、子育て支援講座、ジュニア講座、シニア講座、文化・教養講座が決定しました。

委員からは、「地域の特徴や利用者の意見を講座に入れられた。」「委員のアイデアやいろいろな意見の素晴らしさ知ることができた。」「異業種、異分野の方々と知り合いになり、それぞれの分野のことが知ることができ、とても有意義で勉強になった。」などの感想があがりました。

このように、今後公民館事業は、地域の方々の協力を得ながら、作りあげていくものになると思います。



